

# ●学校の部屋

お問い合わせは教育委員会 ☎ 64・4343



▲真剣な表情で職場体験実習に取り組む生徒たち

登龍中学校2年生116人は、8月21日(火)～24日(金)の期間中、2日間の職場体験を行いました。一学期から職業調べやいろいろな仕事について学習し、今回お世話になる事業所を決めました。職場体験当日は、炎天下の中で汗をかきながらの作業、小さい子どもに気遣いながら笑顔を絶やさない姿、常にお客様のことを第一に考えての接客と、生徒は様々な業種で貴重な体験をしました。その中で、厳しさの中にある仕事の喜び、やりがいを感じることができ、今後の進路選択や将来の夢の実現に生かしていくことができました。

職場体験学習を通して社会を学ぶ  
登龍中学校



▲目標を達成しようと真剣に取り組む児童たち

名森小学校では、7月30日(月)、31日(火)に、希望者を対象に水泳教室を実施しました。25メートル泳げない3年生以上の児童が参加し、各自で決めた目標に合わせた練習をしました。ほとんどの児童が目標を達成し泳げるようになりました。今年は大候に恵まれ、夏休み期間中のプール開放日が14日間全て実施することが出来ました。延べ人数で3000人以上が参加し、水泳の技能も格段に向上しました。

夏休み水泳教室を開催しました  
名森小学校

8月31日(金)夏休み期間中、海外に派遣された小・中学生による少年教育交流団研修報告会が、中央公民館講堂で開催されました。今年度は小学生12人が中国の豊城市へ、中学生19人がオーストラリアのパラマタ市へそれぞれ派遣され、交流団長のあいさつ後、児童・生徒一人ひとりが学んだことや体験したことを発表しました。



▲オーストラリア研修について報告する教育交流団員

海外研修の成果を報告

報告会では、ホームステイの様子や体験したこと、見学した施設などを写真を使って説明し、「ホームステイ先では、言葉が通じなくてもお互いに相手のことを理解しようと思えば、気持ちが通じ合えることがわかった。」「日本との生活文化・食文化の違いに驚いた。」などと、充実した研修の様子が報告されました。



▲中国研修について報告する交流団員

